

成果報告書

(公演・展覧会・研修用)

団体名称	一般社団法人日本歌手協会
担当者連絡先	(担当部署) 副事務局長 (氏 名) 妻吹俊哉 (電 話) 03-6280-4230 (F a x) 03-6280-4234

1. 概 要

事業名	《契約件名》	大衆に根づく「日本のうた、流行歌」再発見を通じた、令和に生きる高齢者世代に届ける「歌で元気を取り戻そう」プロジェクト
事業期間	令和 3年 1月 21日 ~ 令和 3年 3月 31日 <small>* 契約期間を記載</small>	
事業の必要性	分野における環境・現状	<p>新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2020年2月より、大衆の前で歌を届けるという歌手たちの活動の場は失われた。長く生活と密着してきた「歌」を人々に届けてきた時代を作った歌手たちの生活自体も困窮している。この破滅的狀態を脱するため、日本歌手協会が先頭に立ち、これまでの歌手の「歌う」「届ける」だけの仕事から新たな活路を模索し見出さなければならない。さらに自分たちの財産である大衆芸能「歌」たちを、後世へと伝える義務がある。『大衆歌謡の文化継承』である。</p> <p><small>* 報道や客観的データをもとに記載</small></p>
	本事業実施にあたって活かせる団体の強み	<p>事業開始に伴い、考えられるのは歌手の稼働の問題だが、会長、理事をはじめ、歌手協会にはおよそ600名の所属歌手がいる利点で問題解決できる。また、あらゆる事業に対し迅速なスケジュール管理ができ、他人数へのクリアも可能。</p> <p><small>* 強みとして有している資源(情報、能力、経験、信頼、文化など)を記載</small></p>
事業のねらい、波及効果など (事業の趣旨)	<p>「歌の祭典」「歌の学校」「歌のふるさと再発見」などと題した事業を取り組むことで、歌手の役割を再発見させ、ひいては歌を愛し育ててくれた人々に元気を取り戻させる。それらの考えを重点に置いて、新たなる高齢者の消費の対象として、これらの事業を企画。総人口の3割近い高齢者たちに今一度、「歌」でコロナに打ち勝つ力を与える。さらに、今までの活動とは違った面に目を向けることで、歌手協会だからこそできる「歌」の伝道を家庭に届けるという「アナログ」精神の見直し、今回の事業の趣旨でもある。</p> <p>コロナ禍において、「歌の祭典」では会館の収容人数の半分の600名、「歌の学校」では会館の収容人数の半分の100名、「歌のふるさと再発見」では、貸し切りバス1台の乗車規定人数の20名を目標とする。</p> <p><small>* 本事業で目指すこと、試みること(目的・ねらい)を記載。定性的なねらいや波及効果に加え、できる限り定量的な目標値も記載。</small></p>	

2. 公演・展覧会・研修について

公演・展覧会・研修名	「歌の祭典～2021春～」 「歌の学校」 「歌のふるさと再発見」		
公演・展示・研修期間	令和 3年 2月 27日 ～ 令和 3年 3月 31日 公演のみ記載→《ステージ数》 14 ステージ		
実施場所	①「歌の祭典～2021春～」メルパルク東京ホール (所在市町村：港区) ①「歌の祭典～2021春～」メルパルク東京ホール (所在市町村：港区) ①「歌の祭典～2021春～」メルパルク東京ホール (所在市町村：港区) ②「歌の学校」古賀政男音楽博物館けやきホール (所在市町村：渋谷区) ②「歌の学校」古賀政男音楽博物館けやきホール (所在市町村：渋谷区) ②「歌の学校」古賀政男音楽博物館けやきホール (所在市町村：渋谷区) ②「歌の学校」古賀政男音楽博物館けやきホール (所在市町村：渋谷区) ②「歌の学校」古賀政男音楽博物館けやきホール (所在市町村：渋谷区) ②「歌の学校」古賀政男音楽博物館けやきホール (所在市町村：渋谷区) ②「歌の学校」新宿KENTO´S (所在市町村：新宿区) ③「歌のふるさと再発見」東京散策 (所在市町村：渋谷区ほか) ③「歌のふるさと再発見」新潟魚沼エリア (所在市町村：魚沼市ほか) ③「歌のふるさと再発見」群馬榛名エリア (所在市町村：渋川市ほか) ③「歌のふるさと再発見」千葉いすみエリア (所在市町村：いすみ市ほか) *不足する場合は、行を追加すること		
入場者合計 ・ 受講者合計	647 人	平均入場率 (%) ※展覧会・研修は斜線を引くこと	30%
チケット料金 ・ 受講料	①「歌の祭典～2021春～」 ¥6,000		
公演 ・ 展示 ・ 研修概要	①「歌の祭典」コロナ禍ではあるが会館でのコンサートを開催することにより、大衆歌謡という大事な文化を守り、文化芸術を継続させる。 ②「歌の学校」歌手協会らしい新規事業「あの歌、あの頃を歌手から学ぶ」と題し、歌手協会理事から学ぶ。 ③「歌のふるさと再発見」歌手協会所属歌手たちによるご当地ソング、民謡・童謡など、歌にまつわる場所や歌碑などを、マイクロツーリズムとの融和を図って旅をする。 *公演・展示・研修概要、上演作品のあらすじ等を記載。		
主な出演者 ・ 展示作家 ・ 講師 ・ スタッフ	①「歌の祭典」川中美幸、香西かおり、伍代夏子、合田道人、田辺靖雄、原田直之、山本リンダ、あべ静江、松原のぶえ、八代亜紀、加藤登紀子、大津美子、美川憲一、こまどり姉妹、一青窈ほか (総勢約75組) ②「歌の学校」田辺靖雄、合田道人、原田直之、山本リンダ、あべ静江、松原のぶえ、海沼実 ③「歌のふるさと再発見」あべ静江、あべさとこ、原田直之、山本容子、田辺靖雄、九重佑三子、中村悦子、海沼実、小沢あきこ ほか 音響、照明、実行委員などスタッフ 計 およそ750 名		
実施にあたっての協力機関・団体等	株式会社ウイニング・ラン (動画撮影、および編集のプロデュース) *共催者等の具体的な役割を記載。		

* 本用紙は、1契約の内容が「1. 新進〇〇育成公演 (計6公演)、2. 〇〇研修 (3メニュー 各10回)」のように複数の事業を含む場合には、新進〇〇育成公演、〇〇研修ごとに作成すること。なお、新進〇〇育成公演 (計6公演) の場合、本用紙の中で公演毎に①～⑥に分けて記載すること。

3. 事業の成果

事業の成果	<p>「歌の祭典」緊急事態宣言が発令された中での開催でしたが、感染予防対策を徹底したうえで、予定通り行うことができた。また、生の歌声を待ちわびていた多くのお客さまにご来場いただき、久々に歌がもつパワーを届けることができた。</p> <p>「歌の学校」新規事業、歌手協会らしさが前面に出たものだと確信、これからも継続していく。</p> <p>「歌のふるさと再発見」こちらも新規事業。クラブツーリズムのノウハウを借りての実施。今後コロナ収束時には、歌手協会の新しい収益事業として行なっていく手段を見つけることができた。</p> <p><small>*目的（ねらい）の達成状況（どのように達成できたか）を記載。</small></p>
事業における工夫	<p>コロナ感染予防対策を徹底したうえで、すべてのイベントを実施した。とくに、緊急事態宣言が発令された期間は、より強い感染予防対策を行い、お客さまへの安全・安心を前面に出すことができた。また、「歌の学校」に関しては、当日会場に来られないお客さまをターゲットに、自宅でも楽しめて勉強できるよう、DVDを作成し、頒布した。さらに、「歌のふるさと再発見」では、異業種であるクラブツーリズムとタックを組み、あらたなノウハウを習得できた。</p> <p><small>*「目的（ねらい）を達成するための要素」を実演するために工夫したことを記載。</small></p>
事業の課題	<p><今後の課題></p> <p>コロナ禍であったうえ、イベント告知の期間が短かったことで、思うように集客につながらなかった。また、プロジェクトの実施期間中に緊急事態宣言が発令されたこともあり、予定していた会館や場所が確保できなかった。今後は、余裕をもったイベントの告知、深みのある内容、またwithコロナである限り、さらに感染予防対策を行っていく必要がある。</p> <p><small>*本事業を実施した結果として、実現できなかったこと等の課題を記載。</small></p>
感想・評判	<p>この度、本委託事業を通し、あらためて歌の偉大さ、大切さ、歴史を再認識いたしました。会員歌手、スタッフが丸となり、文化芸術の灯を灯し続けてまいります。</p> <p>「歌の祭典」 久々のホールでのコンサートに、ご来場いただいたお客さまは皆、大変喜んでいました。 「声援はできなかったけど、ストレスの発散ができた。」「歌で元気をもらえた。」「歌手協会のコンサートはいろんな歌手が出て、本当に楽しい！」など</p> <p>「歌の学校」 歌手協会だからこそ実現できた「歌の学校」、次の授業も楽しみにしているお客さまが多数。 「歌手から直接学べたとは、本当にすごい!」「歌のプレゼントのミニライブもあって、本当に楽しかった」「DVDも購入して、もう一度家で見ます」など</p> <p>「歌のふるさと再発見」 1つ1つのツアー行程の内容が充実していて、コロナ禍でなければもっと多くのお客さまが参加し、喜んでいただけたと思う。 「昼食が美味しくて、コンサートもあって、一日あっという間だった」「次回は友達をさそって、参加します」「また違った方面へのツアーに参加します」などお声をいただきました。</p>